

# わつか読書会

28年4月14日

## 「志学」

第一部 第7 講



森信三先生

森信三

# 修身録

【現代に最も人間学の要旨】

小島直記氏  
贊美！

笑顔まじまる

「シガク」という言葉は知つていましたが、自立して人生の方向性を定めることとは知りませんでした。講和で「単に受身の状態で生じた感動は決して長続きしない。」「伝記を多く読みなさい」という文が印象に残りました。ただ「志学」には、その手前の器作りができる親は、その器作りを子育てでしているかが、問われています。私は親の役割の中において、①認めて励まし自信をつける。等があると思っています。人は幸せに生きたいものです、幸せを感じる時は、自分に信じるものがあり、それに向かって進んでいる時ではないでしょうか。そして、その経験の積み重ねが自信になっていく……。伝記は正に、幸せに生き抜いた記録。生き方には多様性があるといいわけで、伝記を通して生き方の選択肢も広がり、いずれ、その根底に流れているものに気が付くはずです。

一致している森先生が「あの方に向を目指すときっと君の未来はかかるよ」と期待と励ましのエールを生徒や今、読んでいる私たちに送つて下さっている。それが、教授録であると思っています。57歳のときの出会いに感謝です。

「わつか読書会」そのものが今の私にとって大いに役立っています。同じ話題に対し、肩書きに捉われずに、参加者全員が毎回自分のエピソードや考えを出し合う機会はそうないと思います。その結果、自分で読んだ時に比べて、毎回、音読した上で多くの方々の意見を直に伺えるので「そういうご経験があるからこそ、そういう解釈されるのだな」と理屈でなく、胸に響くことが多いからです。考え方の幅を広げられる素晴らしい場に参加させていただけることに毎回感謝しています。

この講で学んだ事（特に印象に残った内容）志に高低の価値観の差はないが、「己を忘れて、世のため、人のために働く」という志が究極であり、そのためには新たな力が湧いてくる。

・学問とは勉強（学校教育で学ぶこと）だけではない。

・上辺だけの学問ではその後の人生には役に立たない。

・「限界の先に本当の限界がある」（野口みずきマラソン選手）

・「五つの幸せ」（出光佐三さん）、福岡商業高校の「熱、意気、力」

・一部の中学生等では「立志会」を催して、学生に発表させていた。

・志と言えるものはないが、今も成長過程を目指すべき頂（目標）とその頂に至る道の目のどれを選択するかは、人それぞれが異なると思いますし、またその目指す頂の高弟により人を評価すべきではないと思いま

す。

また余裕があれば後から続く人たちのための道しるべ（指標）を立てつつ歩いて行けば良いのだと思います。

私自身今はまだ先に立っている人たちが立ててくれている道しるべに沿って歩いていますが、できれば早く追いつきたいと思っています。

“その頂に向かつて歩み始める”ことが大切であります。57歳のときの出会いに感謝です。

また、富士山（私は3回登りました）のよう

にその目指している過程では頂はほとんど

見えず、当然途中で道に迷うこと、あるいは怪我をすることもあるうかと思いますが、

その時は休憩なり戻りすることなど何の問題もないと思います。

更に「坂の上の雲」というようにその頂に到達したと思っても更なる頂が見え、結局は

付くはずです。

言つてゐる事とやつてゐる事が

付くはずです。

付くはずです。</p

# 活動状況 平成28年4月14日 わっか読書会



石川浩一朗先生の紹介で、三月はオブザーバーで参加、今月から「わっか読書会」は小生にとって本格的な勉強会の始まりである。

自己紹介を少々：昭和19年7月生まれ。本籍は糟屋郡久山町・現住所は福岡市中央区笹丘。家族は妻と二人暮らし、一男二女は結婚し8人の孫、学歴は昭和38年福岡商業高等学校卒業。自慢は槍投げ(注)投げやりではありません)インターハイ全国大会で決勝進出したこと・愛称：猿(バクさん)。

△座右の銘は

人に接するときは、春のように温かい心で！  
仕事をする時は、夏のように燃える心で！

物事を考へる時は、秋のように澄んだ心で！  
自分を戒める時は、冬のように厳しい心で！

さて、「修身教授録」第7講「志学」を予習しようとしたら、その内容を理解する前に、初めて出会う漢字の読みや、その意味が解らず、漢和辞典やスマホと睨めつて先がおもいやられる。例えれば……

「修己治人」…シユウヨウチジン(意味)自分を修養して徳を積み世を治めていく事。

「畢竟」…ヒツキョウ(意味)要するに。結局。

「碌々」…ロクロク(意味)平凡なさま。

恥をさらすようであるが、レベルは概ねこんなものである！

「志学」の内容については森信三先生の一言一句が重く深く、考えさせられる」とばかりで頭の中はパニック状態であるが、『人生二度なし』を肝に铭じてこれから勉強をしていく所存である。

また、4月14日は小生の『わっか読書会』初参加の日に、熊本で震度7の大地震が発生し、忘れることが出来ない一日となつた。

被災者の皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

久芳 隆文 文

森信三先生のことば

「人生二度なし」

これ人生における

最大最深の真理なり

幸福とは

求めるものではなく

与えられるもの。

自分の為すべきことを

した人に對し、

天からこの世において

与えられるものである。

絶対必然即絶対最善

これぞまさしく

「天意」とやいわむ

不尽

## お知らせとご案内

### ◆NPO法人福岡実践人の新執行部のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます

平素は格別のご支援を賜り有難く厚くお礼申し上げます

さて、このたび四月十二日開催の定期通常総会並びに理事会におきまして、左記のとおり役員が選任されそれぞれ就任いたしました

つきましてはこの執行部をもつてNPO活動に精励いたす所存でございますので 今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い

申し上げます

まずは略儀ながら書中をもつてご挨拶申し上げます 敬具

平成二十八年四月 NPO法人 福岡実践人

代表理事 石津 博陸

記

理事 帆足 行敏（重任）	理事 中村 宰久（重任）
理事 小村 俊一（重任）	監事 戸部田 浩一（重任）
理事 立花 尊裕（新任）	理事 深見 信吾（新任）
理事 原田 靖彦（新任）	理事 藤岡 啓介（新任）

（役員全員無報酬）

福岡県指定自動車学校協会の会議室

御問合せと申込は [fukuoka\\_rongo@yahoo.co.jp](mailto:fukuoka_rongo@yahoo.co.jp)まで、

氏名・住所・連絡先を明記の上お申し込みください。

世話人：原田

◆福岡実践人の行事  
1. 実践

博多駅早朝清掃 福岡掃除に学ぶ会 世話人：富吉  
日時 每月8日 午前6時15分～午前7時30分（雨天決行）

場所 博多駅筑紫口広場 集合  
概要 博多駅周辺のゴミ拾い

◆博多駅早朝清掃組 隊長：板東 佳菜

日時 毎週日曜日 午前6時30分～8時00分

（大雨、雷、台風は中止）

場所 明治通り博多大橋 ドンキホーテ前 集合

概要 中洲中央通り、あるいは橋通り、ロマン通り一帯のゴミ拾い

### ◆2. 勉強会

わづか読書会（初回 平成4年2月14日）

日時 每月1回 午後6時00分～午後8時00分

平成28年5月12日(木) 第8講「学問・修養の目標」

平成28年6月9日(木) 第9講「読書」

場所 ホテルクリオコート博多 5階

概要 立腰（瞑目）・論語の素読

森信三先生の「修身教授録」を輪読し、意見交換します。

◆福岡青年 論語塾（毎月1回）

対象者：「論語」を初めて読まる方、興味のある方

内容：仮名論語をテキストに論語の素読、内容の解説など

講師：小川直人氏（教育ジャーナリスト）

日程：平成28年5月21日(土)

平成28年6月18日(土)

会費：年会費2千円

会場：福岡市中央区天神四丁目四番二七号8天神第二ビル

### 団体概要

法人名 NPO法人福岡実践人

創始者 1993年12月8日（帆足行敏氏）

理事長 石津 博陸

事務局 福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号

TEL 092-931-8155

FAX 092-931-8120

Email souji@fukuoka-jissenjin.org

URL <http://www.fukuoka-jissenjin.org>

